

お・知・ら・せ

◆申込み・問合せ

ボランティアセンター

電話 72-2299・FAX 74-3276

※コロナウイルス感染状況により、変更または中止の可能性があります。

要約筆記入門講座

～聞こえない人にどう伝えるの?～

要約筆記とは、耳の不自由な人に対して話す人の言葉をその場で要約し、手書きやパソコンで伝える手段のことです。

日時：①10月26日(水)②11月2日(水)
いずれも13:30～15:30

場所：りんどう会館 大会議室

内容：①聴覚障害者への理解②要約筆記体験

定員：①30名 ②15名

※②に参加する方は①の受講が必須です。

講師：要約筆記サークルこゆるぎ

対象：要約筆記に興味のある方、聞こえにお困りの方

参加費：無料

応募締切：10月19日(水)

※2日目にパソコンでの要約筆記をご希望の方はノートパソコンをご持参ください。

災害研修会

日時：11月21日(月)13:30～15:30

場所：りんどう会館 大会議室

内容：地震に備える

定員：30名

講師：新井 昇さん 小山町在住、

元小山町防災監・危機管理監

参加費：無料

応募締切：11月14日(月)

令和4年度

介護に関する入門的研修 「基礎講座」

「家族の介護に悩んでいる」「自分の老後が心配」「地域での活動に役立てたい」等、介護に興味・関心のある方でしたら、どなたでも受講可。それぞれの目的にあったヒントや情報を学べる講座になっています。

内容：♥介護に関する基礎知識

- ・介護とは
- ・介護保険制度の概要
- ・介護に関する相談先

内容：♥介護の基本

- ・安全で安楽な体の動かし方
- ・介護予防、認知症予防の取り組み
- ・ボランティアなどの地域活動

日時：①11月23日(水・祝) ②11月25日(金) いずれも13:30～16:45※両日とも内容は同様

場所：りんどう会館 大会議室

定員：各日50名(会場25名、オンライン受講25名)

対象：市内にお住まいの方

服装：動きやすい服装で

参加費：無料

申込方法：11月11日(金)までに電話、FAX、ホームページ(Googleフォーム)

にて先着順 希望する日にち、受講方法(会場またはオンライン)をお伝えください。※オンライン受講(ZOOM)をご希望の方は、Googleフォーム

からお申込みください。

実施主体：神奈川県

運営主体：社会福祉法人神奈川県

社会福祉協議会

※介護の仕事を目指す方向けの「入門講座」(4日間・23時間)は2月に実施予定です。詳細はあらためてお知らせします。



南足柄で育つ好奇心!

冬の寺子屋



①おやこ・お菓子福祉教室

日時：12月17日(土)10:00～14:00

場所：女性センター

定員：7組(14名)

講師：南足柄市身体障害者福祉協会

②工場見学に行こう!

日時：12月26日(月)9:30～13:00

場所：高部金属ときんたろう食堂

定員：20名

講師：株式会社高部金属の皆さん、きんたろうワークズの皆さん

③昔遊びを体験しよう! ～凧を作ろう

日時：1月6日(金)9:30～13:00

場所：りんどう会館及び南小校庭

定員：30名

講師：トンボの会の皆さん

※詳しくは、後日各小学校に配付されるチラシをご覧ください。

みなみのお福集め



～寄付品について～

社協が行っている食料支援で配付する食料および日用品の寄付を随時受け付けています。

①食料品 ※未開封で賞味期限が半年以上あるものに限りです。

米、乾麺、レトルト食品、缶詰、調味料、菓子、飲み物類 など

②日用消耗品 ※未使用品に限りです。洗剤類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ラップ、アルミホイル、生理用品 など

※品数は問いません。

※団体で取りまとめていただくことも可能です。

※その他ご不明点はお気軽にお問合せください。

今年、我が家は大河ドラマにはまっています。なぜはまったかといえば、ドラマに身近な場所が舞台となつて出てくるからです。「源頼朝が小田原の石橋山の戦いで敗れ、船で真鶴の岩海岸から逃れた」との話に大変親近感を抱いてしまいました。また、「坂東武者」という言葉がよく使われます。坂東とは足柄峠より東の国のことで、後には関東と呼ばれるようになりました。そう、私たちの住む「南足柄」は関東という地域の源なのです。

また、源頼朝が当時の足柄に來たであろうことを示す伝説があります。一つは、頼朝の愛馬である磨墨(すすずみ)が生まれ故郷に帰った喜びで、かん高いいななき、踏ん張った時の足跡が残る大石を、ご神体とする生駒の足形神社に残る伝説や、同じく頼朝が富士の巻き狩りで足柄峠を越す前夜、月見に邪魔な松の枝を家来に命じて曲げたところ、松の枝が肘のように曲がったままになってしまったという「頼朝のひじ松」の伝説が地蔵堂にあります。

こうした話から、いつもドラマを見ながら我が家では、約800年以上前の足柄は馬の生産が盛んだったのかなとか、頼朝や北条義時たちは多くの家来を連れて足柄を歩いていったのかなと空想にふけるのです。

季節は秋。ハイキングに最適な季節。今年、夫婦でドラマの舞台の地を巡ろうと考えています。(広報委員 生沼豊次)

りんどう便り

